



TOPICS 2024

桐陽高等学校

〒410-0055 静岡県沼津市高島本町8-52
TEL055-921-0350 FAX055-921-9844

HPも是非ご覧ください!

桐陽 検索

<http://www.toyo-numazu.ac.jp>



桐陽高等学校

「生徒ファースト」の学校づくりで 生徒をさらなる躍進に導く！



「コーチング」導入で躍進めざましい特別進学コース「Sクラス」

5つもの多彩なコースから自分に合ったカリキュラムが選べる桐陽高等学校。その中でも多くの生徒が所属する「特別進学コース」では、学力上位者を選抜した「Sクラス」が設定される。このSクラスの昨年度の進学実績が、一昨年度に比べて大きく躍進した。その土台には、これからの桐陽を語るのに欠かせない「自立学習」を促進するさまざまな取り組みや、長く培われた桐陽の風土がある。松本日出年教頭先生、特別進学コースSクラス長の古屋聡馬先生、昨年度Sクラスの3年生を担当された山梨貴正先生のお話から、大躍進の秘密に迫る。

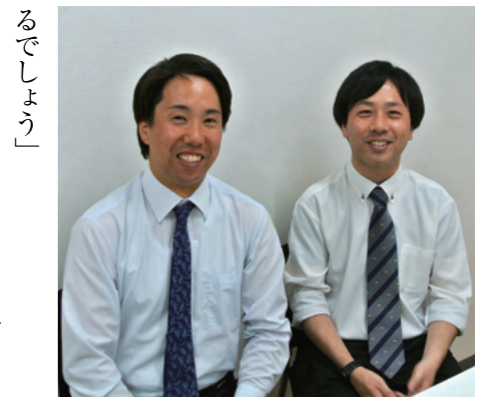
合格者が250%UP！ カギはコーチングにあり

1学年370名ほどのうち200名以上が在籍する「特別進学コース」。その中から学力上位者を選抜したのが「Sクラス」だ。同クラスの主要な受験校であるMARCHE、関関同立、日東駒専の昨年度のべ合格者数が、一昨年度比2・5倍と驚異的な伸びを示した。そのもつとも大きな要因は、近年力を入れてきた「コーチング」にあると、松本教頭は分析する。

「もともと、現在地の確認と早期の目標設定のため、『コミュニケーションスキル』を設定して、クラス担任と年3回の個別面談を設けていました。さらに、教科担任との連携も深め、授業以外でも個別や集団での学習を進めていきました。しかし、それでも『やらされている感』がまだまだ残っていたというのが現実でした」

そこで、生徒を自立した学習者に育てるべく推進してきたのが「コーチング」だ。

「生徒の自発的な気づきや行動を促すコーチングの考え方を導入したことでも、自分の判断でどんどん自主学習を進めていく生徒が増えました。質問のレベルも目に見えて上がりましたね。教員もコーチングスキルを年々上げ、ひとつ上のレベルに達した感があります。これが成果として出てきたといえます」



特別進学コースSクラス長の古屋聡馬先生(左)とSクラス3年生を担当した山梨貴正先生(右)

「自立学習の土台となる学びへのモチベーションを保つには、生徒と教師の円滑なコミュニケーションは欠かせない。ここにF2Bの導入が重なったことも追い風だった。受験に向けて日夜準備に励む3年生とも、「休日や深夜でもコミュニケーションが取れた」と山梨先生は振り返る。

「F2Bを初めて1人1台導入したのが、まさにこの学年でした。全員にメールアドレスがあるので、個々への細かいフォローはメールで直接できます。総合型選抜が行われる2学期には、プレゼン添削やテキスト紹介など、生徒ごとに綿密にやり取りができました」

桐陽に息づく自立の風土を「見える化」し、さらなる高みに

桐陽では部活動もさかん。今年、

高い。しかしこれに慢心せず、常に新しいことを追及している。

「今後はさらに自立学習支援をシステム化していく予定です。自立学習をもっと促進できるカリキュラムにできたら」と、松本教頭。

施設面でも、来年には新しい体育館が完成予定だ。

「桐陽が志望される一番の理由は、今も昔も『面倒見がよい』こと。そこには、勉強でも部活でも『ワンランク上を目指したい』というわれわれへの期待が込められています。その期待をどれだけ超えていけるか。生徒も保護者も想像していなかった地平を見せてあげたいですね」

教師の満腔の思いを追い風に、生徒たちは未来へ、世界へと羽ばたいていく。



飯田 瑞穂 校長

全国高等学校総合体育大会出場を決めた女子ソフトボール部の他、チアリーダー部は10年連続で全国大会に出場。吹奏楽部も県大会の常連となっている。これらの部活には、桐陽に入學してから始めた初心者も多いというから驚きだ。古屋先生は言う。

「チアリーダー部は、なぜかこの地域に強豪校が揃っていて、英才教育を受けてきた子も多い。そんな中、桐陽では生徒たちの自主性を重んじた活動を通して、継続して成果を出し続けています。ダンス部にいたってはほぼ全員が高校から始めて、指導者もいませんが、振り付けから構成まですべて自分たちで行い、大会で入賞するまでになっっています」

自立学習を支える「自立の風土」は、暗黙知として桐陽に脈々と息づいている。これをシステムや環境として「見える化」していく取り組みこそが、今まさに進行中だといえよう。

先ほど触れたF2B導入は、この「自立学習」に大きく貢献していると、山梨先生は語る。

「生徒ファースト」が表出する 放課後自立学習支援センター

「習熟度に合った選択式問題が自動生成され、即時採点されるアプリ『Monox-R (モノグサ)』で、自立学習の質もスピードも格段に上がりました。さらには、生徒自ら『日本史が苦手だからアプリで勉強したい』と、出題のDBの元となるようなエクセルデータを作ってくれたこともあり。これを私がアプリに流し込み、今でも活用されています」



4月から本格運用を開始した放課後自立学習支援センター「スタディラボ」

放課後自立学習支援センター「スタディラボ」が、今年4月から本格運用を開始した。この通称「スタラボ」は、単なる自習室ではない。常駐する専属スタッフに学習計画の相談や学習内容の質問が可能で、進度に合った問題を自由にプリントできるDBも備わっている。

「スタラボへ自発的に通う生徒が多いことに、手ごたえを感じています。21時まで利用可能ですが、部活や習い



日本高校ダンス部選手権新人戦 東海北陸大会でベストジュニア賞を獲得したダンス部



来春完成予定の体育館は音楽スタジオやダンススタジオも併設される

DATA

- 校 長 飯田 瑞穂
- 住 所 〒410-0055 静岡県沼津市高島本町8番52号
- 電 話 055-921-0350
- 交 通 JR東海道線・JR御殿場線 「沼津」駅より徒歩12分
- 生徒数 1110名
- URL <https://www.toyo-numazu.ac.jp>

スポーツ

日刊スポーツ

令和6年1月20日(火)

桐陽 攻守磨き初陣1勝だ

全国選抜、東海高校総体で「日本一」体感



エース池谷「楽しむ気持ちも忘れずに」
強打者・伊賀「より、つなぐ意識で」

ソフトボール女子の桐陽が、初陣を飾る。初戦は、東海高校総体で、初戦を飾る。初戦は、東海高校総体で、初戦を飾る。初戦は、東海高校総体で、初戦を飾る。

令和6年7月18日(木)

好桐陽チーム丸で初戦突破だ

県高校新人バスケット大会で初進出

37大会目で初進出
初戦VS浜松聖星

県高校新人バスケット大会で初進出。初戦は、浜松聖星と対戦し、勝利を収めた。チームは、初戦突破を喜び、今後の大会に向けて意気込みを語った。



桐陽のメンバー

背番号	名前	学年	出身校
1	伊賀 優	2年	静岡県立沼津高等学校
2	池谷 愛	2年	静岡県立沼津高等学校
3	山本 悠	2年	静岡県立沼津高等学校
4	田中 翔	2年	静岡県立沼津高等学校
5	佐藤 健	2年	静岡県立沼津高等学校
6	鈴木 健	2年	静岡県立沼津高等学校
7	高橋 健	2年	静岡県立沼津高等学校
8	斎藤 健	2年	静岡県立沼津高等学校
9	伊藤 健	2年	静岡県立沼津高等学校
10	渡辺 健	2年	静岡県立沼津高等学校
11	山崎 健	2年	静岡県立沼津高等学校
12	佐々木 健	2年	静岡県立沼津高等学校
13	高木 健	2年	静岡県立沼津高等学校
14	斎藤 健	2年	静岡県立沼津高等学校
15	伊藤 健	2年	静岡県立沼津高等学校
16	渡辺 健	2年	静岡県立沼津高等学校
17	山崎 健	2年	静岡県立沼津高等学校
18	佐々木 健	2年	静岡県立沼津高等学校
19	高木 健	2年	静岡県立沼津高等学校
20	斎藤 健	2年	静岡県立沼津高等学校

静岡新聞

スポーツ報知

桐陽サヨナラ初V

ソフトボール女子の桐陽は、初戦を飾る。初戦は、東海高校総体で、初戦を飾る。初戦は、東海高校総体で、初戦を飾る。

小技と機動力 持ち味発揮

ソフトボール女子の桐陽は、初戦を飾る。初戦は、東海高校総体で、初戦を飾る。初戦は、東海高校総体で、初戦を飾る。

令和6年6月2日(日)朝刊

桐陽創部22年目初V

県高校総体ソフトボール大会で初進出

延長9回劇勝

桐陽創部22年目初進出。初戦は、延長9回の劇的な勝利を収めた。チームは、初戦突破を喜び、今後の大会に向けて意気込みを語った。



日高が執念打
奥山監督も涙

日高が執念打。奥山監督も涙。試合は、延長9回の劇的な勝利を収めた。チームは、初戦突破を喜び、今後の大会に向けて意気込みを語った。

静岡新聞

福島の今 桐陽高生学ぶ 広野町長講演会

桐陽高(沼津市)は4日、東日本大震災以降、被災地訪問を通して交流のある福島県広野町の遠藤町長を招いた講演会を同校で開いた。遠藤町長が町の現状と復興、創生へ向けた取り組みを説明した。

同校は2012年からボランティア活動に参加するなど被災地支援を開始。15、16年と福島県いわき市で訪問した仮設住宅に一時入居していたのが、広野町民であったことをきっかけに交流が始まった。町民が仮設住宅から町に戻る

遠藤町長は道路が陥没し、河川が増水した被災の様子を写真で示し、約50人の町民が犠牲になったことや福島原子力発電所が近いことから、11年4月に緊急避難準備区域に指定されたことを説明。交通網や医療体制の整備、除染事業を行い、復興に向けて取り組んでいることを紹介し、「現在、何が被災地で起きているのか、正しい情報を発信していきたい」と強調した。

1年前に町を訪問したという3年川手美蔵さん(18)は立ち入り禁止区域があったことを思い返し「被災から時間がたっているが、復興するまでは時間がかかると感じた」と話した。

令和5年9月5日(火)朝刊

静岡新聞

旅館に恩返し募金 桐陽高3年

能登半島地震を知り 自分たちでできること

修学旅行先を支援

沼津市の桐陽高の生徒がこのほど、能登半島地震で被災した石川県七尾市の旅館「のと楽」に募金寄付を完了した。2022年秋の修学旅行で現在の3年が宿泊したのが縁となり、生徒が自発的に募り、手紙とともに送った。

地震発生後、インターネット上で生徒会が中心となり校内で募金活動を実施。寄付先を話し合い、感謝の思いも込め修学旅行で宿泊したのと楽に届けた。昨年開催した文化祭の売上金と、生徒が集めたアルミ缶の売却益も加えたという。

各クラスの代表生徒10人が、修学旅行の際の思い出をしたためた手紙もつけた。旅館は現在休館中だが、「高校生活の良い思い出として心に残っておられることを拝見し、胸が熱くなる思いこの返信があったらいい。柴田孝之助教頭は「生徒から『コロナ禍で大変な時期に温かく迎えてくれた』との声も自然と届いた。少しでも役に立てていただければ」と話した。(東部局・菊地真生)

静岡新聞

「後悔ないよう感謝伝えて」

作家いぬじゅんさん(浜松)
桐陽高と加藤学園高で講演

小説家になったきっかけなどについて語るいぬじゅんさん。沼津市の加藤学園高で講演した。

高齢者が多いことを踏まえ「後悔を少しでも減らしために、周囲の人に『ありがとう』と伝えて」と呼びかけた。

いぬじゅんさんは「生きること死ぬこと」と題して講演。人の死に接する機会が多く、作品のテーマの根底に「生死」があると紹介した。

小説家になったのは就職後、失恋した友人を励ますために小説を書いたことがきっかけだったという。介護の仕事も小説家も、偶然重なって今がある。大人になってから夢ができることもあるので、興味があることなど、いろいろなことにチャレンジしてほしいとエールを送った。

桐陽高は全校生徒1088人、加藤学園高は3年生143人が聴講した。同校と加藤学園高はそれぞれ、集英社の文庫本100冊を贈った。

令和5年9月14日(木) 朝刊

桐陽生の新聞記事をピックアップ!

T O Y O N E W S



今年も多くの活動が新聞に掲載されました!

桐陽 Merry Bunnies Sky

表舞台の舞

桐陽Merry Bunnies Skyの舞台写真。生徒たちが舞台上でパフォーマンスを披露している様子。

インハイの意気込み聞いてみた!



桐陽新聞

女子バスケット部

体育館で明るく元気に日々の練習に汗を流す女子バスケットボール部の皆さん。部長さんに今年の意気込みを聞きました。

現在は7,8位決定戦にむけて毎日の練習に励んでいます。チームの武器はディフェンス力です。前から全力で当たっていき相手チームのチャンスをつぶします。オフフェンスでは3ポイントの成功率を高め、流れを持ってこようと考えています。

全員で声を出し、絶対に7位を勝ち取ります!県大会でも全力でプレーをして、必ず初戦を突破したいです。

このチームでは最後になるバスケットを精一杯やってきます!最後はみんなで嬉し泣きするぞ!

女子バスケット部インハイへ向けて!



男子バレー部

元気な部員をまとめあげ部長さんに、今年のチームについて聞きました。

県大会出場を目指し、日々の練習に励んでいます。昨年はあまり良い成績を残すことができませんでしたが、今年は部員一同やる気を高め、過去最高の結果を残せるように全力を尽くしたいと思っています。

ソフトボール部

過去最高の強さと名高い今年のソフトボール部。全国大会を目指す部長さんに意気込みをインタビューしました。

仲間と意見がぶつかることもありますが、インターハイに向けて、みんなで協力することを常に忘れず、全員の目標「優勝」に向けここまで頑張ってきました!全国目指してメンバー全員で頑張るので応援お願いします!!

男子サッカー部 県大会出場!



桐陽新聞

インターハイの意気込みを部員のみなさんに聞きました!

一回戦の対戦相手とは選手権でも戦いました。その試合では惜しくも負けてしまったので、そのリベンジとして今回は必ず勝ちたいです。また、強豪高校との試合でも、日頃の練習の成果を発揮し、良い試合となるように全力を尽くします。さらに強いチームを目指しています。地域予選では5点を入れて勝つこともありました。負けてしまった試合もあり、やはりとても悔しい思いをしました。トーナメントを勝ち抜き、県大会出場を決めるため、日々の練習に励んでいます。

22HR 鈴木優尚



27HR 秋山丞

男子サッカー部のみなさんは、学校行事の準備や運営、各種イベントで率先して盛り上げ役になってくれるなど、様々な場面で私達の生活を支えてくれています。

毎日の厳しい練習に負けず、努力を積み重ねるみなさんが、最高のパフォーマンスを発揮できますように!応援しています!



この記事は報道部の私達が担当しました!

桐陽新聞



3年生の模擬店ではドーナツ、餃子、ポテト、たこ焼き、らくがきせんべい、チョコバナナ、もやしナムルにチユロス、揚げパン、甘味処、肉巻きおにぎり、焼き鳥……などなど、様々な商品が販売されました!

模擬店は10時開店でしたが、お昼になるころには完売してしまうクラスもあったようです。どの教室も行列ができており、買うだけでも一苦労でした。が、どれも美味しく買って帰ったか

2年生はお祭りの屋台やお化け屋敷、クラブ、フオトスポットなど、クラスごとに個性豊かなお店を開店!ゲームに挑戦するグッズもあって、お客さんを喜ばせたい!という思いと工夫があふれていました。

桐陽祭初体験の1年生のみならず、来年はおもてなしする側として、先輩達が見せてくれた全力の準備&接客を忘れずに桐陽祭を盛り上げていきましょう!

昨年の桐陽祭を参考に、更にパワーアップした出店&模擬店で、今年の桐陽祭も最高に盛り上がりました。お客さんもお店屋さんも、生徒みんなが楽しめたのではないのでしょうか。

各クラス工夫をこらし準備万端!

大歓声&感動のステージ発表



校内では模擬店・出店以外にも、文化部による作品や活動報告の展示、スタンパラー、桐陽スマブラ王決定戦などが行われた一方で、体育館は歓声に包まれた2日間でした。カラオケ大会では、迫力の歌声に会場も大盛り上がりでした。また、アカペラ部、演劇部、応援部、軽音学部、書道部、吹奏楽部、ダンス部、チアリーダー部によるパフォーマンスも行われました。どの部もこの日のために夜遅くまで仲間と協力し、練習を重ねました。仲間たちの努力を知っているからこそ、会場からはより大きな声援が上がり、まるでライブ会場のように盛り上がりました。見ている側も舞台上に立っている側も楽しんだ2日間でした。様々な場面で活躍してくれたみなさん、お疲れ様でした!何に対しても全力で素敵でした!



この記事は報道部の私達が担当しました!

桐陽新聞



お弁当ランキング

私たち桐陽生の元気の源であるお弁当!おうちのお弁当も大好きだけど、今年から始まった愛鷹弁当には毎日生徒が殺到しています!4時間目が終わるころになるとソワソワしている姿も見られる今日この頃……。

今回は人気商品を聞いてみましょう!

1位!

チユロス

「生地も砂糖も甘くてちょうどいい長さで食べやすい!」友達ともシェアしやすい!という声がありました!もちろんおいしいことも人気の理由です!



お味はどうでしょう!?

2位!

ポテト

丸いの・太いの・細いの……など、様々な種類があります。「カリカリしつとりふにゃふにゃなど色々な種類の食感が楽しい!」との声!

3位!

焼きそば

「お祭りの屋台のような味で、楽しい気持ちになる!」とのこと!お肉が大きく、具沢山で美味しいですよ!



この記事は報道部の私達が担当しました!



桐陽新聞

今年の優勝はどのクラス!?



全クラス目標は優勝!

順位予想的中なるか!

5月30日に桐陽祭体育の部が行われまし
た。午前中は日差しが
強く体調が心配になる
ほどの暑さでしたが、
少しずつ太陽が隠れち
ようど良い気候に。笑
顔のあふれる一日とな
りました。例年通りの
百メートル走、大縄跳
び、二人四脚、メディ
ングボール、クラス対抗
リレーに加え、今年
は学年対抗綱引きが競
技に追加されました。
クラス対抗で競い合うた
め、どのクラスも気合
十分! 体育の授業や朝
練&昼練での成果を結
果に繋げ、教室へ賞状
と優勝トロフィーを持
ち帰るため、クラスで
団結します! クラス旗
を掲げ、応援も全力で
す! メディシングボ
ールでは、途中転んでしま
うというハプニングがあ
ったクラスもありまし
た。どのチームも最
後まで諦めずに走り抜
きました。長縄も回し
手、跳び手、

どちらも全力で取り組
む場面を見ることがで
きました。今年度の最
多ジャンプ数は210
回! 先生方とのじゃん
けん勝負が勝敗を左
右する三人四脚では、
今年はどうやら狩野
先生がじゃんけんに弱
かったようです。学年
対抗綱引きは白熱! 優
勝候補の3年生に少
しも近づいたため、3
年生は他学年に負けな
い、クラス・学年を超
えて協力しており、熱
い戦いのなか、一人一
人の笑顔が輝いていま
した。最も盛り上がり
を見せたのは今年もリ
レー! 観客席の皆が応援
していたため、選手は
もともと頑張ろうとい
う気持ちでたのびな
いかと思います。3年
生にとっては最後の体
育祭でしたが良い思
い出ができたのではない
でしょうか。

先生達に優勝候補クラスを
聞いたところ……
3年10組・9組・6組・4組
の名前が挙げられました。今年
の3年生のいくつかのクラスに
は、昨年2年生でありながら優
勝したメンバーが含まれている
ため、優勝予想も難しくなっ
たようです。

優勝は果たして!?

激戦を制し、優勝の栄冠を手
に入れたのは
3年6組!

駿平先生のクラスがなんと
2年連続の優勝という結果で
した! 準優勝は3年10組、3位
は2年10組でした! 応援の持
つ力、多くの人に支えられて
いること、周囲を見ることの大切
さなど、たくさん見ることが大切
祭を通して学んだと思います。
みなさん、暑い中お疲れ様で
した!

桐陽新聞

普通コースは福島研修・特進コースはMCSへ

1年生 総合探究



一年生は総合探究の時間に、毎年宿泊を伴う研修に出かけています。クラスメイトとの仲を深めるだけでなく、学びと発見の2日間になったようです。
普通コースは福島県で被災地研修を受け、地震についての知識を深めると共に、広野町で河津桜の植樹活動を行っています。
特別進学コースはキャリアガイダンスやデザインアカデミーを受講し、働くということ・おもてなしを学ぶということを学びます。デザインランドへ入園し、キャストのみなさんのおもてなしに触れ、私達にどのようなおもてなしをしてくださっているのかを体験しました。



この記事は報道部の私達が担当しました!

私達にできること

被災者の方と共にバスに乗り、地震の後の風景を見ながらどんな状況だったのかを説明していただいたり、広野町の方との交流会ではどんな被害を受けたのかを具体的に伺ったりするなかで、震災当時の状況や津波の恐ろしさを知りました。また、いわき市・ら・ミュウの震災講話では、避難所の生活の大変さや津波による被害と死亡率などを生々しく聞きました。震災を経験している方から生の声を聞くこと、より深く震災の恐ろしさを感じ知識を得ただけでなく、高校生である私達の役割について考える大きなきっかけとなりました。

広野町では河津桜の植樹活動を行いました。雑草をとり穴を掘ったり、地域の環境を維持するためにはたくさんの方々の力が不可欠なのだ実感しました。

多くの学びと気付きを得られるだけでなく、仲間と楽しむ時間もあります! 宿泊先のホテルハイアンスでは、映画でも見たことのあるパフォーマンスに盛り上がりました。アクアマリン福島では、様々な動物を見ることができ、福島の海の大きな特徴である、太平洋の『潮目』をテーマにした水族館で、自然光の下での植物の展示もあり、本当に山の中や海の中にいるようでした。

震災についての知識を深め、当たり前に行き慣れた河津桜が満開になる季節に、私達が植えた河津桜が満開になる季節に、また福島県へ行きたいと思います。

おもてなしの心を学ぶ

1日目の講座は正直面倒だと思っていたけれど、いざ話を聞いてみると、自分のためになる話ばかりで、集中して学ぶことができた。

全ての仕事は誰かのためにあり、かけがえないものであること、常識はどんどん変化しているから何事も意識することが重要なこと、社会人基礎力とはなにか、それを鍛えるために今なにができるか……など、なんとなく知っていたことを言葉にして説明してもらったことで、自分に足りないものや養わなくてはいけないものがなんなのか明確になりました。感謝の気持ちを忘れず、社会に出る前に成長したいです。デザインアカデミーでは4つのおもてなしのポイント、①挨拶②アイコンタクト③言葉遣い④スマイルの4つを意識することの大切さを学びました。

1日目と違って学ぶことができたので、いつも違う視点で回ることができたデザインランドはとて新鮮でした。キャストさんがどうやってゲストと接しているのかなど、今まで気にならなかったところを見て、キャストさんの細やかな心遣いや笑顔の力を改めて知りました。キャストさんのような対応は、相手のことを沢山考えなければできない事だと思ふので、相手の立場で考える癖をつけたいです。

この2日間で、視野が少し広がって自分を愛するきっかけになったような気がします。限られた高校3年間の無駄にしないように、将来についてしっかりと意識しながら生活したいと感じました。自分と関わった相手が笑顔になれるような人に成長したいです。

桐陽新聞

10年連続!全国大会出場

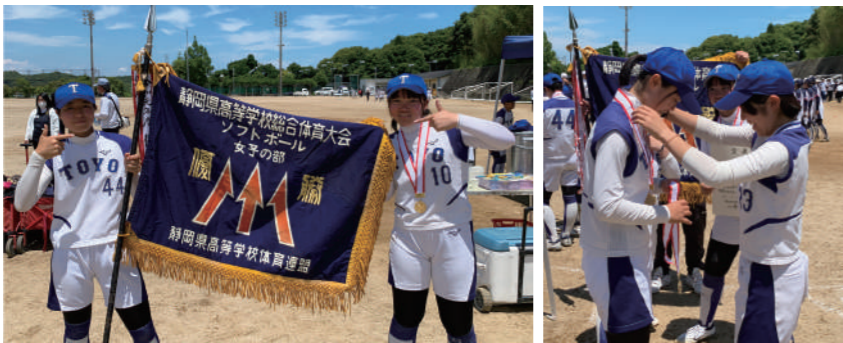


チアリーダー部のみなさんが、10年連続の全国大会出場を果たしました！今回は、厳しい練習を乗り越え、私達に元気と笑顔を届けてくれるチアリーダー部のみなさんの声をお届けします！

大会前に外部コーチが来てくださる時以外の練習は、自分達だけで進める時間も多くなります。最初はどうやってダンスを合わせたらいいか、どうやって練習を進めるか、うまくいかないことが多くありますが、メンバー全員で意見を出し合いここまで頑張ることができました。全国大会は同じ高校生とは思えないような技を披露し、動きがぴたり揃っているチームばかりです。会場へ向かうまでは本当に緊張しましたが、ウォーミングアップのときには周りに流されず、自分たちの空気を作ることができ、自然と緊張がほぐ

桐陽新聞

ソフトボール部全国へ!



6月1日に行われたインターハイでソフトボール部が初優勝!全国大会への出場が決定しました!インターハイ決勝では初回に1点を取られました。2回裏に15番龍光がタイムリーヒットで2点を追加し、逆転に成功。しかし3回表で同点にされ、両校追加点なしが続きます。最終回の7回表に2番柚那と16番さくららのフライングプレーで、相手を0点に抑えましたが、7回裏のノーアウト満塁のチャンスを抑えられてしまいます。タイムブレークに突入り1点の取り合いへ。9回裏、2番相那の犠牲バントで、1アウトランナー三塁。最後は16番さくらがエンドランを決め、タイムリー内野安打で悲願の優勝を果たしました。

れました。それは日頃積み重ねてきたことが、自分たちならできると、全員の自信になってきたからだと思います。Sの6人だけでは、絶対に立つことができない舞台でした。Sを支えてくれたOのメンバー、チアダンスのメンバー、先生方には本当に感謝しています。

部長 39HR 後藤楓果

チアリーダー部では、特にコミュニケーションを取ることを大切にしています。大会前の練習では、自分達だけで進めることの難しさに直面し、様々な不安や悩みがありました。全員で意見を出し合い、励ましあっていました。予選には2チームが出場しましたが、両チーム共心の底から楽しめた舞台でした。全国出場を決めたSの6人の演技は、同チームの自分から見ても感動で涙が出ました。すごくかっこよかったです。10年連続!本当におめでとう!

副部長 37HR 岩田華歩

全国大会では静岡大会で挙げた反省を改善し、今までで一番良い演技ができました。Sの6人はすごく仲が良く、学年関係なくアドバイスしあえたからこそ、できたことがたくさんあります。大会当日、舞台袖でのスタンバイも楽しむことができました。勿論緊張もしていたけれど、「大丈夫」「私達ならできる」と声をかけあえたことで良い緊張感を持ちながらリラックスして臨むことができました。踊っている瞬間には、他のメンバーや応援してくる家族・仲間が見えて嬉しくなりました。私達の目標は表彰台に立つことだったので、7位と言った結果は悔しくて、みんなで泣きました。春から始まったSとしての練習は辛いことも多かったけれど、舞台上に立っている時間が楽しくて、素敵な思い出になりました。

36HR 長島優衣

予選を通過したとき、全国の舞台でこのメンバーで踊れているとき、幸せで最高に楽しかったです。一体感を感じました。みんなキラキラしていました。本当に今までみんなで頑張ってきた良かったです。後輩のみんな、これからも頑張ってくださいね!14期15期のみんな大好き!

37HR 黒木萌衣

悲願の全国大会へ

劇的なサヨナラで初優勝を果たし、全国大会への切符をつかんだソフトボール部。2年生部員に優勝をつかんだ秘訣をききました。

優勝の秘訣の1つ目は、部員一人一人が周りを見ることを意識していたこと。準備や片付けは主に1年生の仕事ですが、手が足りていないところがないかを、常に全員が意識し、気付いた部員が動くようにしています。3年生が手伝ってくれているときは、1、2年生が代わるように積極的に声を出すことなども意識しています。その結果練習の質が上がり技術が向上していったのだと感じています。

2つ目は、3年生にしか出来ない方法で私達後輩を育てたこと。自分個人だけの練習に力を入れるのではなく、先輩方はいつも後輩のことを気にかけてくれています。1、2年生にアドバイスをする時には、あえて少し厳しく指摘しながら技術力向上を目指すなど、3年生だからこそできる声のかけ方のおかげでチームの団結力が高まりました。

部員のみなさんができることを全力で行い、先輩方が常にチームを引っ張ってくれたから実現した優勝のだと感じました。ソフトボール部の皆さん、改めて優勝おめでとうございませう!全国大会の舞台を、みなさんらしく笑顔で楽しんでプレーしてください!

疲れているときこそ声を出し、不安な部分を繰り返しながら、ポジティブな気持ちで本番を意識して練習してきました。全国大会本番前の練習からずっと楽しくてワクワクしていました。結果は目標には届かなかったけれど、みんなで一年間頑張ってきたことを全部出せたと思うし、今まで努力してきたよかったです。

35HR 吉田こ

3年生と踊れる最後の大会、とても楽しかったです!思うように踊りが合わなくて落ち込むこともありましたが、秋の大会での悔しさを晴らすために6人で励ましあって頑張ってきました。この6人で全国の舞台上に立てて本当に嬉しかったです。壮行会、友達、先生方の応援が大きな力になりました。堂々と演技をするのができました!ありがとうございました!

28HR 平井なる

全国大会が3年生と踊れる最後の大きな大会だったので、全員で絶対に目標達成しよう!と強い気持ちで大変な練習も頑張ることができました。表彰台に登ると言う目標は残念ながら達成することができませんでしたが私達が今までやってきたことを全て出して楽しく踊れたことが順位よりも大切なことだと思います。チアダンスのメンバーとしても学校生活を一緒に過ごす友達としても、ここまで仲を深められたから全国大会という大舞台までたどり着けたと感じます。家族やチームメイト、友達、先生方などたくさんの方の応援と支えに力をもらいました。ありがとうございました!全国大会出場連続記録を伸ばすため、たくさんプレッシャーもあります頑張ります。これからも応援よろしくお願います。

26HR 小川桃香



この記事は報道部の私達が担当しました!

宇佐美先生に聞きました

ソフトボール部顧問の宇佐美先生にも、いくつか質問してみました!

Q. 全国大会行きを決めた今の気持ちは?
A. 自分が現役時代に成し遂げられなかった高等学校の立場となって叶ったことがとても嬉しいですね。(正直なところ、自分が現役のときに達成したかったという感情もあります。)

Q. 優勝を決めた瞬間の気持ちは?
A. 昨年7月に行われた県選手権大会での準優勝という悔しかった瞬間が頭に浮かびました。負けて悔しがる自チームと勝ちを喜ぶ相手チーム。その光景が今でも忘れられないほど悔しかった。高校での一番大きな大会で、その悔しかった光景を逆転できたことが信じられなくて、生徒の喜ぶ姿をただただ目に焼き付けていました。

Q. 今までどのようなことを意識してきましたか?
A. 選手たちの個性を伸ばせるように、選手の間を大事にして、対話する時間をたくさん持つことを特に意識しました。
Q. 桐陽のみんなに一言お願いします!
A. 全国大会でも、選手も監督もチーム一丸となって、全国一勝を掴み取りにいけます!応援よろしくお願います!

全国大会は長崎県大村市で行われます。桐陽高校ソフトボール部の一回戦は7月22日!一同全力で応援しています!



この記事は報道部の私達が担当しました!